



## 地域とつながり

# 子どもたちの笑顔を支える“心のケア”

県教育委員会では、これまで防災教育の推進とともに、児童生徒の心のケアについて、スクールカウンセラーなどの専門職員の派遣や、相談・支援体制の整備に取り組んできました。震災から4年が経過した今もなお、様々な形で現れる不適応症状などにきめ細かく対応するために、今後も長期的視点に立って継続的に児童生徒の心のケアの充実を図っていきます。

### 子どもの心のケアに向けた主な取組

- **スクールカウンセラーの配置・派遣**・・・小学校は、市町村に配置したスクールカウンセラーを派遣し対応しています。また、中学校及び県立高校は、県内全ての学校に配置しました。
- **スクールソーシャルワーカーの配置・派遣**・・・家庭等の環境に起因する問題に対応するために、社会福祉等の専門的知識を有するスクールソーシャルワーカーを、要望に応じて市町村及び県立高校に配置しています。
- **各種相談窓口の設置**・・・総合教育センター不登校・発達支援相談室では、専任の相談員や指導主事、臨床心理士が電話や面談で相談を受け付けています。
- **各種研修会の実施**・・・時間とともに変化する児童生徒の心の状況に対応するため、地域の実情や時期に応じた研修会を実施しています。

### 子供のこころサポート研修会

#### 総合教育センター

総合教育センターでは、平成26年度から学校を訪問して行う訪問支援研修会と、被災地域に出向いて行うサテライト研修会を実施しています。

訪問支援研修会は、学校からの要請により、精神科医や臨床心理士、保健師等が学校を訪問して講義や事例検討を行う研修会です。また、サテライト研修会は、学校と地域の連携をテーマにした講義や演習、実践事例発表を行う研修会で、県内3カ所（気仙沼、石巻、名取）で開催しています。



● H26サテライト研修会の様子（本吉公民館）

### 宮城県子ども総合センター研修会

#### 南三陸教育事務所

震災で甚大な被害を受けた地域にある南三陸教育事務所では、子ども総合センターの協力を得て、子どもたちの心のケアについて理解を深めるための研修会を実施しています。

昨年は5回の研修会に、延べ219名の先生方が参加しました。今後、一層重要になってくる子どもたちのケアの実践に係る対応力向上を図るために、平成27年度も年4回の研修会を開催します。

### 心的外傷対応能力養成大学院派遣

児童生徒の心のケアの推進に向けた中心的役割を担う人材の養成を目的に、平成24年度から毎年3名の現職養護教諭を、兵庫教育大学大学院修士課程に派遣しています。

派遣研修を終えた1・2期生の6名は、総合教育センターで開催される研修会の講師を務めるなど、研修の成果を生かしています。

## 『みやぎ防災教育推進協力校事業』の取組

学校と地域関係機関・団体等及びPTAとの連携のための実践研究を推進するとともに、「みやぎ防災教育副読本」を活用した防災教育の授業実践を行い、県内各学校で活用できる防災教育のモデル（みやぎモデル）づくりに取り組んでいます。

今年度の協力校は、県内7ブロック（各教育事務所、地域事務所）及び県立学校から、下記の16校が指定されています。

### 【平成27年度みやぎ防災教育推進協力校】

- |          |              |              |             |
|----------|--------------|--------------|-------------|
| (H26～27) | ■大河原町立金ヶ瀬小学校 | ■名取市立ゆりが丘小学校 | ■大崎市立岩出山小学校 |
|          | ■栗原市立志波姫小学校  | ■石巻市立広淵小学校   | ■登米市立加賀野小学校 |
|          | ■気仙沼市立階上小学校  | ■宮城県立気仙沼支援学校 |             |
| (H27～28) | ■角田市立東根小学校   | ■岩沼市立玉浦小学校   | ■美里町立不動堂小学校 |
|          | ■栗原市立栗駒小学校   | ■石巻市立鮎川小学校   | ■登米市立柳津小学校  |
|          | ■南三陸町立入谷小学校  | ■宮城県立角田支援学校  |             |

### 協力校の取組紹介

【各協力校の取組は、スポーツ健康課Webページに公開する予定です。】

### 既存の組織を生かした協議会を設置

### 名取市立ゆりが丘小学校

ゆりが丘小学校では、既存の組織である「ゆりが丘地区子どもを守る協議会」と地域連携を推進しています。この協議会は、公民館長、民生委員、自治会長、交番巡査、児童センター長、PTA役員、教職員等で構成されており、これまで防犯を中心に活動を行っていました。学校側からこれまでの活動に加えて防災活動への協力を依頼し、協議会の了解を得て、連携の取組がスムーズにスタートしました。

協議会と連携し、防災・地域連携の研修会や、学校にある防災倉庫の見学会の実施、登校時避難訓練への参加などに取り組みました。

学校では、今後も協議会と協力して防災教育の充実を図っていくこととしています。



●防災倉庫見学会の様子

### 始業前に「防災タイム」を導入

### 気仙沼市立階上小学校

階上小学校では、「みやぎ防災教育副読本」と「気仙沼市防災学習シート」を活用した防災教育年間指導計画を作成し実践に取り組んでいます。

副読本等を避難訓練などの防災関連行事の前に活用するだけでなく、総合的な学習の時間や学級活動の時間、さらに、第2、第4金曜日の始業前15分の「防災タイム」などで、活用機会を確保しています。

今年度は、教科との関連を図った防災教育年間指導計画の作成に取り組むことにしています。

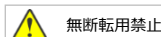


- 3年生「津波から身を守るために」
- 4年生「非常持ち出し袋の中身を考えよう」



宮城県教育庁  
教職員課・スポーツ健康課

〒980-8423 仙台市青葉区本町3-8-1  
TEL 022-211-3639 FAX 022-211-3698  
TEL 022-211-3662 FAX 022-211-3796



●このリーフレットの制作は平成27年6月です。